

スプレー系カーネーション「エリザベス」の特性

農業研究センター 天草農業研究所

研究のねらい

近年カーネーションの生産においては従来のエンゼル系についてスプレー系の生産が増加傾向にあり、品種的には生産性が高く良質の品が求められている。そこでハウス栽培のスプレー系カーネーションについて、収量・切花長・花房幅・側枝数・花径等を比較検討した結果「エリザベス」を選定し、その品種特性を明らかにした。

研究の成果

1. 「エリザベス」の特性

- (1) 花色はピンクで花の大きさは中で花弁数は多い。
- (2) 花房の側枝数は多い方であるが側枝の開きは小さく花房の型は良い。
- (3) 切花長は長く枝の硬さは中～硬である。
- (4) 対照品種の「ライラック」より生育が早生で、生産性が高い。収量は供試 38 品種中でも多い方である。参考の「エンゼル」に比べると約 4 割程度下回る。
- (5) 収量は、一番花で 11 月、二番花で 2 月にピークがみられ、後期の収量が多くなる。

2. 栽培上の留意点

収穫期間が長く、また仕立て本数が多すぎると品質・収量が低下するので追肥・灌水により草勢を維持し、摘芽をこまめに行う。

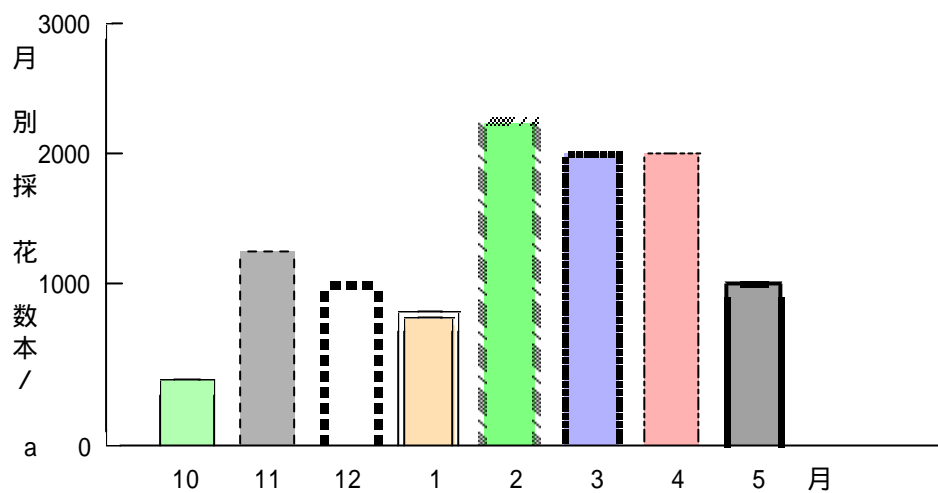


図1 月別収量の推移

図2 開花調査結果(平成2年度)

品種名	花色	採花始日 月 日	採花本数 本/a	切花長 m	早晚性
エリザベス	桃	10.22	10977	79	早
ライラック	桃	10.26	10630	56	中
エンゼル(スカーレット [®] ル)	赤	10.12	19043	76	早



写真 カーネーション